

オリーブ通信

2017年
7月号
2017.7.22発行
第189号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



あたらしいながまです
どうぞよろしく



バーンス ノエル (アメリカ)



バグース ペングストゥ (インドネシア)



ダオ ティ ラン アイン (ベトナム)



ブイ ティ ヴイン (ベトナム)



ルオン スアン フン (ベトナム)

中川先生のへんてこ日本語

84



日本語がじょうずですね

われわれはよく「日本語がうまい」とか「へただ」とか評価するが、その「うまい／へただ」とは何を基準に判断しているのだろうか。

日本人とはまったく風貌や肌色の異なる人が「こんにちは」といっただけで、「めっちゃ日本語うまい」と評価し、日本人と見分けのつかない人が結構難しいことをいっても、「あの人なままつている、日本語へただ」と評価しがちになる。外国人日本語弁論大会でも、日本人とは髪の色、肌の色の異なる人が賞をもらうことがよくある。

では真に「日本語がうまい」とはどんなことだろうか。日本語能力試験でN1に合格したとか、漢字をいくつ知っているという単なる知識だけのものだろうか。

私が考えるに、「日本語がうまい」とは、「日本語を使って何かができる」ではないか。

例えば「可能形」を学習したら、ただ可能形の作り方が分かったというだけではなく、可能形を使って、「ピアノが弾けます」(能力)、「ここで両替できますか」(許可)、「ここに車は止められません」(禁止)など、可能形を使って何かができるようにならなければならないと考える。

昨日まではできなかったことが、今日授業に参加することによって「できる」ようになった。そういう「できる」(自己紹介ができる、注文ができる、お願いができる、上手に断ることができる)、そういうことができることを積み重ねていって、日本語を使ってできることがたくさんある、それが真の日本語能力だと考える。

最近の日本語能力試験も、このCan-doを重視し、「なん語程度の文章が読める」とか「評論文が読める」とかの能力基準を定めている。

この能力基準は、日本人にも当てはまるのではないか。じょうずに自己紹介できない人もいれば、断るのが下手な人もいる。私などは、日本語能力かなり低そうなお気がする。

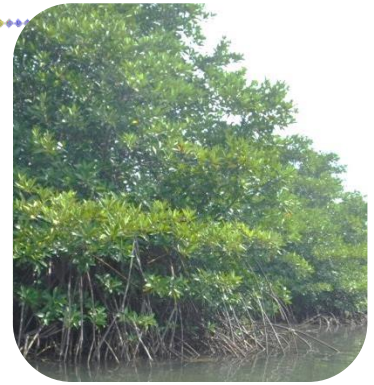
ところでここまで私の文章が読めれば、日本語何級かな？

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

フィリピンでのボランティア

2年前から、アジアを支援するボランティアに参加しています。といっても、日頃は資金作りのために、お祭り屋台で唐揚げを売ったり、チャリティーコンサートを企画したり。しかし、援助している国に行ったことがない。よし、一度いってみるか。それが今回のフィリピンでのワークキャンプに参加した動機でした。

まずは、首都マニラのあるルソン島の最先端のマトノグという町に行って、地元の人々と一緒に海岸線にマングローブを植えます。マングローブは海岸の浅瀬に根を張り、台風などの災害から家々を守るとともに、根が魚の魚礁となり地元の漁業を支える、二酸化炭素の吸収がよく地球温暖化を食い止めるのに効果あり。固くてよい炭となるので切り倒されていくマングローブを植林することで、「採るだけ」から「育てる」へ、住民の意識を変えていこうというわけです。



アスパラみたいなマングローブの苗1万5000本を中腰で浅瀬に植えていくのはけっこうたいへん！（ほとんど田植え）でも、しんどいだけでなく、カヌーに乗ってマングローブの中を探検したり、シムルマカン島の中を歩いて村長さんにお会いしたり、村のお祭りの闘鶏を見たり、村の子どもたちとトライシクルに乗ったり、観光ツアーでない体験を楽しみました。

後半のマニラでの「スタディツアー」は、ASU（アジア社会大学）でストリートチルドレンとその支援について講義を受けたり、経済的に厳しい状況にある家庭の子供たちを対象にした補習学校を見学したり、ポリナオ島に行って島民の生活の様子を見たりと、体力的にも脳力的にもハードなプログラムでした。ポリナオ島でJAFSの井戸掘りのプロジェクトを視察しましたが、現在は浅い井戸しかなく、その塩分の高い水を飲み続けると高血圧になってしまうという現状を知り、井戸プロジェクトの重要性を痛感しました。

もちろん、私たちは年に1回しか行けないので、現地のボランティアスタッフの日常的な活動が重要です。それぞれのスタッフが、担当する地域の人々のために何かできないか、この村にどうしたら産業を興せるか？子どもたちがどうすれば学校へ通えるか、を常に考えています。そんなのは政府、地方自治体が動いてくれるように働きかけるもんじゃないの？とってしまう私ですが、国民一人一人の生活の保障までなかなか手が回らない行政の実情、植民地支配の歴史が長く、自分たちで産業を興す経験が少ないというフィリピンの歴史、その中でほんとうに厳しい状況にあるストリートチルドレンを始め子どもたちの現状などを講義で聞きました。「とにかく、目の前にいる人々のために、今できることをしよう」というスタッフの姿勢に私の考え方も変わりました。よし、がんばって唐揚げ売るぞ！

マングローブツアーは誰でも参加できますよ。フィリピンの自然や子どもたちと触れ合ってみませんか？

（福井 え）





インドネシア

食べ物
アイスクリーム
スイカ

イベント
海で泳ぐ



冷緑豆汁



フィリピン

ハロハロ

イベント
プールで泳ぐ (日本より料金が安い)
Tシャツを買いに行く
食べる物
ハロハロ (アイスやフルーツのかき氷)

中国

食べる物
スイカ (一番人気)
アイスクリーム ビール
冷緑豆汁
氷粥
ヘチマの炒め物

イベント
花火
夕食後の舞踏
噴水遊び (音楽付き!)
川・プールで泳ぐ



氷粥

暑い夏!
あなたの国はどの国をいきる?



レモネード

アメリカ

イベント
花火
バーベキュー
プールで泳ぐ
焚火

食べ物
アイスクリーム
スイカ
レモネード



チャー

ベトナム

食べる物
おでん (!) 焼肉
ケムリイ (アイスクリームサンデー)
かき氷・che (チャー)
ビール (大人気!)

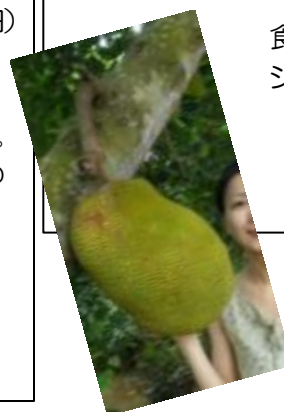
イベント Giỗ to Hùng Vương (旧暦3月10日)
(ベトナム建国の英雄フン王の祭り)

新暦の4月29日くらい
日本のGWのように夏の
連休になります。



バングラディッシュ

食べる物
ジャックフルーツ





先月の活動(6月)

日本語教室 6/3,10,17,24 (4回)
 関西弁講座 打ち合わせ 6/10
 (内田幸・小春・後藤・杉山美)
 KIFA 広報部会 6/6 (火) (恩地)
 KIFA 文化庁事業ネットワーク会議 6/8 (木) (恩地)
 まちセン施設部会 6/16 (金) (前田)
 防災学習テキスト指導者講習会 6/25 (日)
 (内田幸・内田千・福井え)
 BNN 運営委員会 6/25 (日) (内田幸)

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



今月の活動予定(7月)

日本語教室 7/1,8,22,29 (4回)
 まちセン周年イベント実行委員会 7/10 (前田)
 BNN 運営委員会 7/16 (内田幸)
 KIFA 文化庁事業ネットワーク会議 (恩地)
 まちセン全体会 7/20 (木) (前田)
 KIFA 文化庁事業打ち合わせ (恩地)

会員の動き(6月)

〈入会〉 遠藤 純江 (6月3日)

〈休会〉〈退会〉〈賛助会員〉 なし

新入会 遠藤 純江 さん



参加人数(6月)

	6/3	6/10	6/17	6/24
生徒	29人	29人	30人	29人
先生	20人	23人	22人	22人

びわこ日本語ネットワーク主催

防災学習テキスト「いのちをまもる」指導者学習会

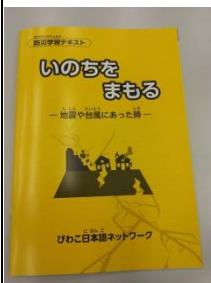
6月25日(日)に参加してきました。

災害時の外国人が情報弱者になりがちであることは統計からも明らかだそうです。割合からいうと日本人に比べて死者で2倍、負傷者で2.4倍になるそうです。

海外産業人材育成教会の澤田先生の講義を受けたり、ワークショップを体験したり、あっという間の2時間でした。

このテキストをもとに防災講座をオリーブで開こうと企画中。

日本にいる期間は3年ほどかもしれませんが、過去のネパールの地震・インドネシアの津波などを思うと、災害は日本だけの問題ではありません。防災講座で学んだことを国に帰っても生かしてくれるといいですね。(福井 え)



編集後記

初めてのオリーブ通信の作成、段取りが悪いうえに、風邪と歯痛で寝込んでしまい、完成が遅くなってしまいました。しかし、先輩の通信をそのまま、記事を差し替えるだけという安易な編集で何とか完成しました。

オリジナルが作れるよう、研鑽します。

(カイツブリ)



自分も外国語を学ぶことが好きなので、日本でくらす外国人の方のお手伝いできればと思いオリーブに参加させていただきました。旅行も好きです。よろしくをお願いします。

関西弁講座始まります

7月30日(日) 10時~12時

8月20日(日) 10時~12時

8月27日(日) 10時~12時

(担当: 杉山美・内田幸: 小春・後藤)

楽しみながら、日常的な関西弁を理解し、使いこなすことまでできる! といいな。生徒さんには好評の講座です。

メイディーさん、登場!



「ただいま」という言葉とともに1年前にインドネシアに帰国したメイディーさんがオリーブに現れました。聞けば「日本にいる友人に会いに来た」とのこと。オリーブでの友人にも会えて満足そうです。私たちも元気な姿を見せてくれてうれしい。

ミーティングにも参加して「中休みのない時も、何かゲームを入れたりして気分転換したほうがいい」とアドバイスをくれました。

今度来る時はお嫁さんを連れて? 楽しみです!